

実習船仲間に思わず敬礼【水高記者DIARY】2月18日

地域 島根 石見

2024/3/18 (最終更新: 2024/3/18)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太朗さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



小型船で神海丸に近づいてきたパイラー

2月18日 北緯21度19分 西経157度53分



浜田出港後30日目。ついに今日、神海丸はホノルルに入港しました。

午前6~8時、私は当直で船橋にいました。ホノルルがあるオアフ島はすでに多くの明かりがとまり、キラキラと輝いて見えました。すると、前方に何やら光が。双眼鏡で見ると船のようです。

AIS(船舶自動識別装置)で確認すると、何と、千葉県の実習船「千潮丸」でした。近くには高知県実習船「土佐海援丸」の姿もあったそうです。ハワイで志を同じくする人たちと出会えたことはどこか心強く、感慨深いものがありました。

そして7時ごろだったでしょうか、神海丸はホノルル港へ航行を始め、9時半には港の案内人パイラーが乗船しました。パイラーは、パイロットボートという小型船で接舷し、縄ばしごから上がってきて、その姿がとてもかっこいい。神海丸にピタリと接舷し、そのまますっくと離れていく技術に息をのみました。

程なくしてホノルルの街並みが見え、発展度と異国情緒に胸が高まってきます。空を見上げれば多くの飛行機がひっきりなしに飛び交い、カラフルな色合いのパラグライダーが海へと向かう様子は、まさしくハワイここにありといった感じ。港を行き交う船も、豪華客船からヨットまでさまざまですが、どこか日本のものとは異なる雰囲気をもっていました。

いよいよ神海丸が停泊場所に到着するころ、先に入港していた土佐海援丸と擦れ違いました。甲板にいらっしゃった船員さんたちにあいさつの意味を込め「敬礼」の号令が響き渡りました。皆一斉に敬礼をすると、土佐海援丸の方から「素晴らしい!」とお褒めの言葉をいただきました。

入港後は上陸説明と非常操舵(そうだ)操練を終え、いよいよハワイ初上陸です。(浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎)